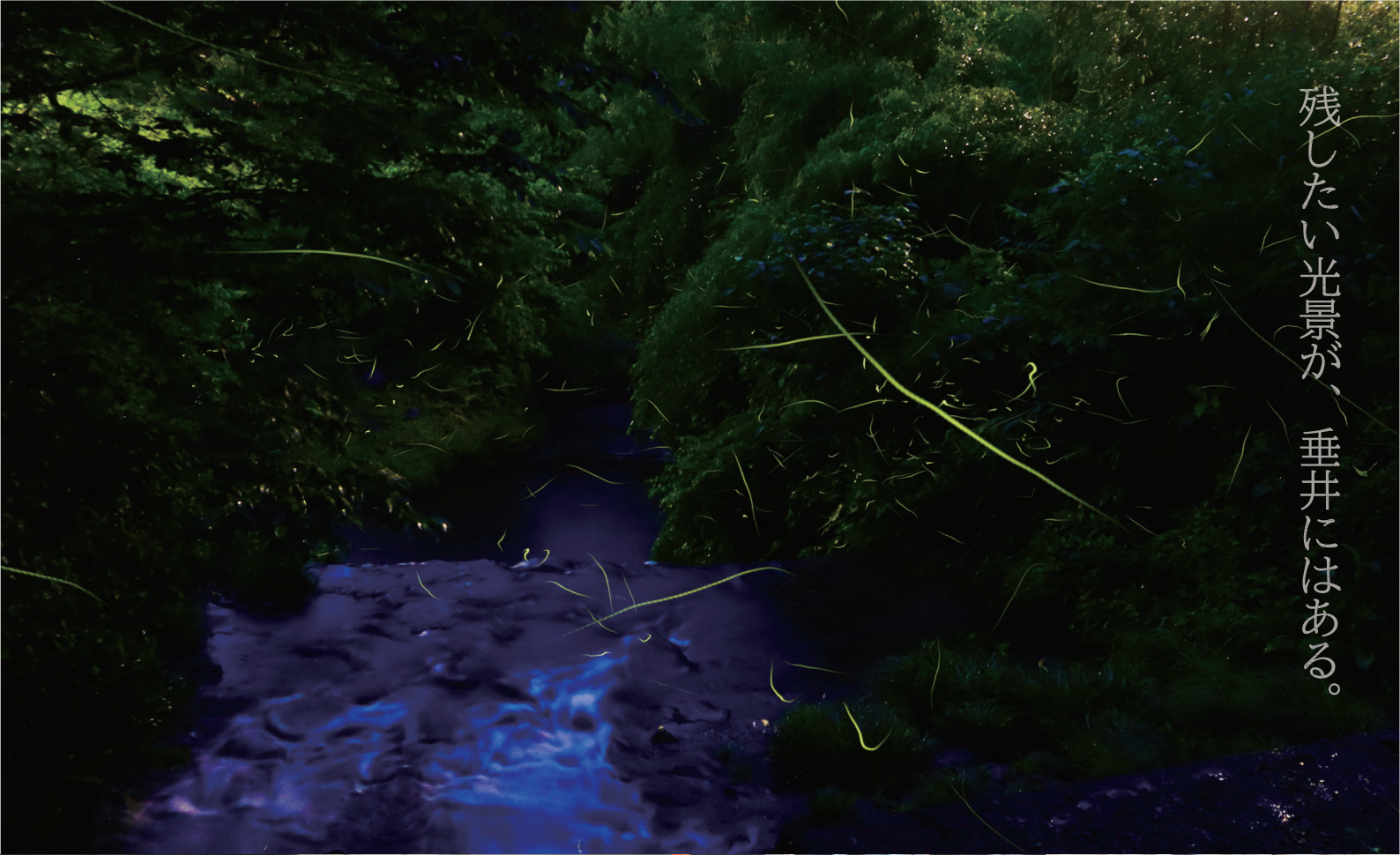


残したい光景が、垂井にはある。



▲各地区で実施されたホタル祭り、鑑賞会の様子

垂井の初夏を彩るホタル

6月上旬から中旬にかけて、表佐・府中・岩手地区内でホタルが見られました。夜になると、親子や家族でホタルを見に足を運んで楽しむ姿が見られ、各地ではホタルの鑑賞会や、ホタル祭りが開催されました。

ホタルは街灯の届かない静かできれいな水辺を好み、幼虫の餌となるカワニナ(巻貝)が生息していることや、産卵できる水苔、さなぎになるための土草があることなど、生息できる条件が限られています。一方、近年は環境汚染などにより、ホタルの数や、生息する場所が減ってきているとの声も多く聞かれます。

無数のホタルが光り、妖艶に舞う様子は、まるで異空間にいるかのような光景で、ついつい時間を忘れてしまうほど美しいものです。そんな光景を、何年先も見続けるため、わたしたちの手で自然を守り、残していきたいでしょう。

13

気候変動に
具体的な対策を



15

陸の豊かさ
を守ろう

